

令和7年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立和歌山東高等学校

校長名：大石 歩

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

校訓「自主・自律・敬愛」のもと、全日制普通科高校として地域から求められる役割を果たすため、「生徒が確実に成長すること」を第一の目標とし、「社会でよりよく生きる力を持った生徒が育つ学校」を目指す。

社会のルールやマナーを大切に行動し、自他を尊重し、多様な人々と協働することができ、自主性や積極性を持ち、自ら社会や地域に貢献できる生徒を育成する。

学校評価の公表方法

自校ホームページに掲載

現状・進捗度	A	十分に達成している。（80%以上）
	B	概ね達成している。（60%以上）
	C	あまり十分でない。（40%以上）
	D	不十分である。（40%未満）

自己評価（分析、計画、取組、評価）							
番号	計画・取組				評価（〇月〇日現在）		
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗	進捗状況	今後の改善方策
1	学ぶ意欲を向上させ、基礎学力を定着させる。		習熟度別授業や少人数学習を取り入れ、生徒個々に丁寧に指導できる体制を作る。また、学び直しを授業展開に組み込むことで生徒を授業から取りこぼさない指導を行う。	中途転退学及び原級留置者数を年度当初生徒総数の8%未満。			
			面談・教育相談・SC・SSWの活用とともに積極的に保護者と連携を図り、生徒の内面や環境を把握することで、適切なサポートにつなげる。	各種委員会やケース会議の実施状況や該当生徒の動向調査・QUアンケートの実施・生徒の情報共有のための学年会議を月1回実施。			
			教養基礎や社会基礎、進学補習など、生徒個々の学力に応じた学習指導を組織的に進める。	進路希望の実現。 中途転退学及び原級留置者数を年度当初生徒総数の8%未満。			
2	将来に向けて自主的・積極的に行動できる。		興味・関心・進路希望に幅広く対応できるコース選択制や学校設定科目を中心とした特色ある授業展開をカリキュラムに導入する。	教育課程検討委員会を学期に1回以上実施。			
			予備面接や応募前職場見学への積極的な呼びかけや公務員講座の実施等による、個々に応じた適切な進路指導を実践する。	入学時からの計画的な進路指導体制の確立。			
			総合的な探究の時間・LHR等において自己の未来を描くことができるようなキャリア形成支援を行う。	学年別進路LHRを学期に2回以上実施。			
3	自分を律し、規範意識を身につける。		教養基礎により、基本的生活習慣のリズムを身につける。また担任・保護者との連携により、欠席遅刻早退の減少に努める。	月における7日以上欠席生徒の減少。 中途転退学及び原級留置者数を年度当初生徒総数の8%未満。			
			薬物乱用や喫煙防止等の啓発活動を充実し、規範意識の向上を図り、問題行動を未然に防ぐ。また、問題行動後は別室指導や授業指導により再発を防ぐ。	特別指導及び懲戒処分件数を年度当初生徒総数の30%未満。講演会の年1回以上の実施、及び啓発通信の月1回の発行。			
			アセンブリーを中心に集団への帰属意識の向上を図る。	学年別アセンブリーを学期に2回以上実施。			
4	自他を尊重し、多様な人々と協働できる。		部活動離れを止めるためにクラブ紹介などでの積極的な活動参加を促す。また、教員に対しても部活動における負担が減るよう、業務削減に努める。	部活動実活動数を全校生徒の4割以上。			
			体育大会・文化祭だけでなく紀の川市縦断歩行や芸術鑑賞会など学校行事を充実させるとともにボランティア活動への積極的な参加を促す。	ボランティア活動参加者数年間のべ100名以上。			
			三者協議会や地域事業への参加など生徒会活動を活性化するとともに、小手穂学を中心とした授業における地域との連携・協働をすすめる。	生徒会通信の月1回の発行。 HPにおける小手穂学の月1回の更新。			

学校関係者評価（〇月〇日実施）